



A GUIDE TO OWNING USING AND LOVING YOUR
XTRACycle BICYCLE

目次

初めての乗車



2 度目の乗車で



同乗者を載せての走行



貨物の牽引



保証関連



エクストラサイクルは作用します



エクストラサイクルの世界へようこそ！

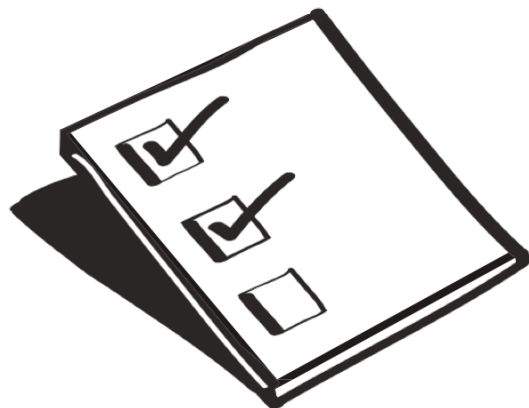
この取扱説明書（以下本書）には、お客様と同乗者を健やかに保つ、そしてあなたが自転車に乗って行う様々な境界を安全に広げてゆく手助けをするという2つの目的が掲げられています。

改めて安全と楽しみについて考えてみて下さい。そして人生を変えるであろう数々の経験に備えて下さい。

初乗りに出かける前に少し時間をとって本書に目を通して下さい。私たちはここにエクストラサイクルの自転車に乗る上でのヒントやコツ、そしてエッジランナー並びにカートを付けての走行に特化した情報を詰め込みました。

本書の特定の部分は単に教科書で、他の部分は安全のための重要な手順です。これらの手順を踏むことが出来ないと、冗談抜きでお客様並びに同乗者を怪我もしくは死に至らせる恐れがあります。初乗りの前に本書の最初の節“初めて乗る前に準備すること”を読むことが重要です。

本書の教科書の部分は読み飛ばされるべきではありませんが、積載や荷解きの方法、同乗者を乗せるためのコツ、貨物の助言と同時に自転車の一般的なお手入れになど、初乗りの後に読むことになるかもしれません。



初めての乗車

初めての乗車の前にしっかりとこの節に目を通して下さい。これを怠ると将来の自転車遠征を棒に振るような重傷もしくは死に至る恐れがあります。

1. 調整

身体にあった自転車は制御しやすく、効率的な走り方が出来ます。調整は購入店で行ってもらえますが、ここでも2、3の簡単な手引きを記載しておきます。ペダルに足がつき、サドルに座った状態で快適に操舵でき、トップチューブにまたがった状態で股下に少なくとも25.4mmの余裕があること～このどれかが欠けるとかなり不愉快な形で自身を傷つける危険を冒すことになります。

2. 簡潔な積載のABC

簡潔な積載のABCは自転車に精通し、機械的な問題をひどくなる前を見つける最高の情報です。これは決して広範囲に渡る点検やお手入れの計画といったものではありません。一般的に雨天候や重い荷物を積んで定期的に乗るようであれば、年に一度かそれ以上の頻度の全体的な調整が必要となります。どの位の頻度でどのような天候、地形の下を走るのかを元に購入店はお手入れの頻度を推奨してくれます。

荷物もしくは同乗者の運搬に関わらず、お客様の機材が適切に仕事をしていることを知るの是一件で、素早い点検は走り出してからトラブルを未然に防ぎます。要点は”簡潔な積載のABC”（アメリカンバイシクリスト連盟<http://www.bikeleague.org/>に感謝）で覚えることが出来ます。

貨物

荷物がしっかりと固定されているか貨物領域の全ての要素を点検して下さい。エッジランナーはフライトデッキとバッグを擁するアルミ製のラックを備えています。このラックはフレームにワッチャマカラーで知られるクランプをもって4カ所で固定されています。デッキもしくはラックを持ち上げて抜け上がるようならワッチャマカラーを締めて下さい。デッキは4つのスーパーフックでラックに固定されており、前後に動かないようになっています。バッグには荷物の運搬、ホイール、ギアから同乗者の足を守るという2つの目的があります。バッグの後方両隅はフレームにストラップ留めされ、安定するよう張られています。バッグの取扱説明書に従いストラップをきつく張って下さい。

AはAIR (エア-)

タイヤの側面に表示されている推奨範囲の空気が入っていることを確認してください。空気圧が低いほどより多くの衝撃を吸収しますが効率が悪く、空気圧が高いほど効率は良くなりますがタイヤの衝撃吸収は減少します。重い荷物を運ぶ際にはタイヤの空気圧を上げて下さい。空気圧が低すぎるとリム打ちを起こしパンクの要因となります。空気を入れた後はタイヤのダメージを注意深く見て下さい。切り傷やサイドウォールの亀裂、膨張はタイヤを交換するべき兆候です。

B は BRAKE (ブレーキ)

荷物を満載した自転車が止まるのは良い性能のブレーキが必要で、それゆえにエッジランナーには全天候での使用が考慮されたディスクブレーキが装着されています。ブレーキパッドとローターは使用と共にすり減っていくので、少なくともパッドが1mm残っていること、ローターがでこぼこしていたり薄くなっていないことを確認して下さい。ローターの制動面がそれ以外の所より薄くなっているように見えたら、購入店に持ち込んで厚みを測ってみて下さい。

大半のローターは両側共に1mmすり減ると使用限界なので、見た目だけで消耗を判断するのは大変です。ブレーキレバーを絞って自転車を前後に転がしてみして下さい。自転車が動く、もしくは引き絞ったレバーがハンドルバーから25.4mm以内であれば、ブレーキは調整の潮時です。最後は両足で前輪を挟み込み動かないようにしてから、握ったハンドルバーを左右にひねってしっかり固定されているか確認して下さい。バーが動くようであればステムの増し締めを行って下さい。



警告: ディスクブレーキは使用中かなり高温になります。乗車前には点検を行い、

乗車後常温に戻るまではさわらないで下さい。

C は CHAIN (チェン) と Cable (ケーブル)

チェンは後輪に力を送る役割を果たします。固まっていないこと、そして良く注油されていることを確認して下さい。正しい注油の仕方とお客様の地域に最適な潤滑油に関しては購入店でお願いして下さい。ブレーキとシフトの制御はケーブルによって行われます。すり切れていないこと、ハウジングが良い状態であることを確認して下さい。すり切れたり錆びたりねじれたケーブル、ハウジングは交換されるべきです。全てのギアにチェンが移動することを確認し、ディレーラーが適応しない場合は調整を行って下さい。

クイックリリース

車輪はクイックリリースによって保持されており、これにより小さくまとめて簡単に輸送することが出来ます。保持具合を確認するには、ホイールの上部もしくは側面を押し下り引いたりして、ドロップアウトの中で揺り動かします。揺り動くようであればクイックリリースは緩すぎます！

クイックリリースの正しい調整、留め方については購入店で説明してもらって下さい。保持が適切にされないと走行中にゆるむ恐れがあり、大変危険な状態となります。

落下

自転車を 10cm ほど持ち上げて落下させます。普段感じない振動や聞き慣れないノイズは問題の前兆を示しています。疑わしき症状があれば、購入店に持ち込んでみてもらって下さい。

3. 走りをライトアップ

夜間並びに視認性が奪われる状況下での走行は、ご自身の危険性とお客様が歩行者や他のサイクリストに対して引き起こす危険性を増大させます。ライトは視認性を改善してくれ、見やすくしてくれる意味で常時おすすめのアクセサリです（国内の夜間走行では白色のフロントライト点灯が義務となっています）。

幾つかのエッジランナーではダイナモ駆動のライトが装備され、夜間や悪天候での視認性を上げています。ただ遠くまでの視界を得るには追加でライトを購入する必要があるでしょう。

4. 天気で憂鬱になることないように

雨天候とゆるんだ地形はトラクションを減少させ、停止や鋭い旋回を困難にします。ですのでスピードを落とし、悪条件の中でも確実に止まれるよう余分な距離をとって下さい。またこのような状況下ではリアブレーキを多く使うことが、危険な事故につながりやすい前輪の横滑りを防ぐ手助けとなります。カーゴバイクは追加された貨物の重量が路面に張り付く手助けとなって横滑りに抗う一方で、何も積まないで後輪の横滑りが起きやすい傾向にあります。

5. エッジランナー重量制限



- ・合計（貨物＋搭乗者）重量：181kg まで
- ・デッキ積載重量：車軸より前に 90kg、車軸より後ろに 45kg
- ・フリーローダー（カーゴバッグ）積載重量：片側 45kg まで（X1、X2 共に）

これらは安全な運転限界の数値で破損限界ではありません。破損限界を見極める行為は行わないで下さい。そういった行為は自転車に良くなく、ご自身も非常に危険となる恐れがあります。これらの限界値は自転車を舗装路で、良い視認性のもと、通常的气象条件で、全ての貨物が以下の”貨物の運搬”で概要される最良の積み方をされる～といった設計思想の元使うと仮定したものであることを心に留めておいて下さい。



2 度目の乗車で

運転してみてどうだったでしょうか？願わくはこの自転車に好感を持たれたかと思います。エクストラサイクルはお客様がこれまで乗られてきたどの自転車よりも沢山の荷物を運べることを知り、新しい、創造的な使い方の可能性を感じられたと思います。これから先も乗る前には簡潔な積載の ABC を確認してください。また以下で概説される幾つかの大きな挑戦に挑むことも出来ます。

1. シフティング

エッジランナーは丘も走破～特に 100kg 近くの貨物を運搬しつつ～出来るよう多段のギアを備えています。ギアは前後 2 セットの構成で、2 つのシフターを使います。一見複雑そうですが、実際は簡単です。

左のシフターはフロントディレクターを制御し、大きなギアの変化をもたらします。右のシフターはリアディレクターを制御し、細かなギアの変化を行います。右のシフターをいつも端から端まで使っているなら、左のシフターを使うことを考えて下さい。例えば信号にさしかかった時、右を 2- 3 段シフトダウンし、左を 1 段シフトダウンするといった具合です。最初はかなり低いギアからのスタートになりますが、右のギアを使いきるのではなく、走り始めれば左を 1 段シフトアップし、右のシフターで調整するといった具合です。

一つ覚えてほしい重要なことは、変速はペダルを漕いでいる時だけ行えるということ、そして変速中はペダルに多くの荷重をかけないということです。チェンに荷重がかかった状態で変速を行うと荒っぽい変速となり、チェンの横滑りが起こる恐れがあります。ですので変速中は穏やかなペダリングを心がけて下さい！停止の標識や丘を走る際は、そこにさしかかる時点～荷重を受けた状態では変速が困難になる前にシフトダウンを行って下さい。再び漕ぎ始める際、丘に挑む際には低いギアが欲しいはずですから。

2. ブレーキング

エッジランナーは良質な機械式、もしくは油圧のディスクブレーキを備えています。荷物を載せずに走る場合、フロントブレーキは最も効果を発揮します。お客様の体重の大半は前輪にかかっているため、最大のトラクションがかかる訳です。後輪側へ荷物を積み積むほど、リアブレーキは効果を増します。トラクションが少ない状態でリアブレーキを多く使いたい場合は、スピードを落としすぐ減速出来ることをお勧めします。他の自転車と異なり、フロントブレーキに急制動をかけてひっくり返るのはかなり難しいですが、滑りやすい路面ではトラクションを失い前輪を駄目にする恐れもあります。



3. 移動と自動車での運搬

大方のロングバイクは公共の交通上での走行が難しく、中にはいつ、どのように走るのがかを規制してある地域もあります。お住まいの地域特有の規則に関しては購入店で訪ねるか、サービス提供者に問い合わせください。

エッジランナーはフロントホイールを抜き、フロントホイールのトレイにフォークを設置し、ホイールをフレームのトップチューブと一緒に設置することで一般的なバスの自転車ラックに設置することが出来ます。エクストラサイクルのシンチストラップはロングテイルの自転車をバスに取り付けるのに役立つツールです。適切な設置の例に関してはエクストラサイクルのスーパーユーザーであるクリス・ニガルドのページ (j.mp/14DhTGv) を見て下さい。

高い場所並びに地下鉄にはエレベーターを利用して持ち運ぶことができます。小さなエレベーターでは自転車を立てかけることで対応でき、これは積み荷があってもしっかりと固定されていれば使える手段です。

エッジランナーを自動車で運ぶには二通りの方法があります。長い車、トラック、ミニバン、SUV に関してはシートを畳んで中に入れる、もしくはベッド部分に置くことができます。上記当てはまらない場合、ルーフ用マウントラックのタンデムトレイを使うのがベストな方法です（ロッキーマウントのタンデムトレイを参照下さい。長時間、高速での移動の際はバッグを取り外すことを忘れないで下さい。バッグは自転車用に設計されたもので高速道路や速度を考慮したものではありません。

4. ジャングル都市での操縦

都市の通りはそこかしこで狭く、専用道路も不足しており、多くのドライバーは車線変更よりも遥かに近くサイクリストに割り込んできます。感覚に反するかもしれませんが、側溝や駐車中の車から 1m 近く離れて走ることで、お客様の安全性は格段に向上します。そうすることで”ドアゾーン”から外れ、ドライバーはお客様を視認しやすくなり、くぼみやガラスの破片を避ける際も両側に安全な余地があるからです。またドライバーにとっても、これは安全に追い抜く奨励となります。貨物の関係で車線を占有する必要があるなら、不屈の精神で走って下さい！

他の道路利用者には礼儀正しくしましょう。進路変更する際は合図を出し、歩道に入ること無く、停止信号、標識には従いましょう。A 地点から B 地点まで、ベストな進路を計画を立てるには、わずかながら貨物自転車なりの知識が必要であることを心に留めておいて下さい。自転車専用道路はあなたの味方です。ルートは上りは短く、下りを長く取りましょう！

5. カーゴバイクの施錠

アラビアの賢者は言いました：“神様を信じて、なおかつラクダの手綱を結んでおけ”と・・・ゆえに自転車にも鍵が必要なのです。最も安全な手段は2つのUロックを使うことで、片方で前輪とフレームを固定物に施錠し、もう一つ小さ目なもので後輪とフレームを施錠するという具合です。カーゴバッグ（X1、X2、フリーローダー）の窃盗は極めて困難なので、その点は心配しなくてよいと思います。

施錠自体は盗難との戦いの半分でしかなく、いつ、どこに停めるかということが同じ位重要です。日中ダウンタウンに施錠駐車するのは大丈夫、夜でもまあ大丈夫でしょう。一晩中公共の市街地区域に停めておくことは再考してください。通勤に使う場合、勤める建物に安全に止められる場所があるか、もしくは中に持ち込むことが出来るか確認して下さい。家に帰ってきたら、家の中に入れるか鍵のかかる車庫に入れるのがベストです。悪天候にさらされることもありませんし、安全性も若干上がるからです。最終的にはエッジランナーをあなたの住宅所有者もしくは賃貸人の保険に加えて、レシートや写真、シリアルナンバーを安全な場所に保管しておくのが良いでしょう。保険は盗まれた際に新車を手に入れやすくなり、自転車情報は警察が見つげ出す手助けとなります。まれではありますが、シリアルナンバーが判らないと見つけてもらうことが不可能な場合があります。



困難な夢を見よう

利用が増える自転車と減って行く車、緑地の増加に駐車場の減少、増える専用道路と舗装路の減少、そしてスモッグのない世界。煙突の無い工場、用をなさないダム、自由に流れる河川、意味のある仕事、意味のある製品、消費者主義が必要でなくなる社会。美しいことに意欲的である人、美しくすることに取り組む人に私たちは憧れます。



同乗者を載せての走行

誰かを載せての走行はお客様にとっても同乗者にとっても最高に楽しいことですが、そこには幾つかの特徴的な問題があります。ここでは大きく 3 つのカテゴリに分けて説明することにします。一般的な同乗者、4 歳未満の同乗者、そして 4 歳以上の同乗者の 3 つで一般的な同乗者は全ての人を対象に、あとの 2 つはそれぞれ限定された年齢層にあてはまる記載です。

一般的な同乗者について

1. 同乗者は常にヘルメットをかぶってください。
2. サイドバッグ、その他の足を保護するものを装着せずに同乗者を乗せないで下さい。エクストラサイクルの X1、X2 バッグは足の保護に最適です。
3. 日本の公道では 6 歳未満の幼児を載せることのみが 2 人乗りとして認められており、それ以外は定員外乗車となります。またエクストラサイクルで最も大事なことは走る際のルート選びと、自転車でどこに子供たちを載せるかということです。
4. 一般的に子供は載せて運ぶ中で最も重く、その重量の全てがデッキの上という比較的高い位置にあります。これはバッグや水平ラック上の貨物よりも操舵により大きな影響を与えていることを意味しています。
5. 後ろに載せた場合、子供は道路のでこぼこや曲がる箇所が見えません。先に起こりうることを知らせることで、子供はでこぼこに備えることが出来、身体を傾け曲がりやすくしてくれます。
6. 子供を載せたり下ろす時、そして低速で走り出す時、止まる時が最も自転車の操舵を失う隙が出来やすい時です。子供を載せて道路に出る前には他の往來のない平坦な場所で子供の載せ下しと低速での運転走行を練習してください。エクストラサイクルのセンタースタンド、“キックバック”を付けるとより安全で、安定した子供の載せ下ろしが可能です。



エクストラサイクルのフープタイを使っでの最大積載人数は操縦者を除いて3人、重量は68kg未満、そして後輪の車軸より後ろに22kg以上載せてはいけません。

4歳児未満の同乗者の場合

大半の親御さんと法律の間で、4歳未満の子供はチャイルドシートに載せて安全ベルトをするという部分で一致しています。良いシートは耐久性があり、安全性のテストが為され、乗員が受ける衝撃を和らげるというものです、Yeppのイージーフィットマキシィはエクストラサイクルのロングテール規格にもばっちりです、生後9ヶ月から4歳まで、22kgまでの子供に向けられた商品です。年齢に関係なくあらゆる子供をエクストラサイクルに載せる上で、シートは子供たちの頭を包み込み、自転車の後部に乗ることで起こる跳ね上げにも耐える強度が無くてはなりません。

好ましい子供の配列：

4歳以下のお子さんを一人載せる際は、最大の快適性と操舵性をもたらすためデッキの前方にチャイルドシートを設置してください。4歳以下のお子さんを二人載せる際は、チャイルドシート2座席を縦一列に並べて、快適にシートから出し入れしやすい空間を持たせて同じくらい離して設置してください。4歳以下のお子さんとは4歳以上の子供を一人ずつ載せる際は、大半の子供が前方に座って快適さを得られるので前方に大きな子供を、最大の操舵性をもたらすため同じくらい離して後ろにチャイルドシートを設置してください。エクストラサイクルに複数人子供を載せる際はフープタイを使うことをお勧めします。フープタイにはワイドとナロー、2つのセッティングがあり、チャイルドシートはワイドの状態内で内側のレールの間に収まるようになっています。

4 歳以上の同乗者の場合

ほとんどの州の自転車法によれば（常識的にも）、4 歳を超える全ての搭乗者にはシートと手をおく場所、そして専用のフットレストが与えられるべきです。エッジランナーシリーズには子供 3 人分の必需品が同梱されると同時に、素晴らしい安定度を誇るダブルレグのキックスタンド、“キックバック”も付いています。お子さんがチャイルドシートを卒業する頃、フープタイで安全に乗れることを値踏みしてみてください。Trail-a-Bike(<http://www.trail-a-bike.com>)に乗れるだろうか？自身で自転車に乗って並んで走って走れるだろうかと・・・。フープタイに乗るのに必要なのは自覚であるとかパイプをつかんでおくという注意力レベルのもので、同時に安全性と安全性が提供されるのです。

お眠さんは

小さな同乗者は走行中眠りに落ちやすく、度々惑わせるように睡魔で頭を垂れます。眠気で頭がうなだれるのを防ぐのは難しく、その間お子さんの身体を安全で快適に保つ手助けをしてあげましょう。しっかりとシートベルトを締めることは保護の第一歩で、お子さんが気持ちよく呼吸出来る自由を奪うこと無く締めて下さい。お子さんが寝入ったら、シートの背面に対して上半身がしっかりと包まれるようブランケットもしくはあなたのスエットシャツでくるむことを考えて下さい。これによりお子さんが暖かく保たれ、身体はしっかりと支えられ、頭のぐらつきも制限されます。パッドを充てるためお子さんの首に何かしらを結びつけることは避けて下さい。

お子さんには手すり、フットレスト、シートが必要です

ほとんどの州の自転車法によれば（常識的にも）、4歳を超える全ての搭乗者にはシートと手をおく場所、そして専用のフットレストが与えられるべきです。エッジランナーシリーズには子供3人分の必需品が同梱されると同時に、素晴らしい安定度を誇るダブルレグのキックスタンド、“キックバック（www.xtracycle.com/kickback）”も付いています。

安全の上にも安全を

エクストラサイクルのフープタイはチャイルドシートの設置にあわせて両側のUチューブを広げることが出来ます。設置は可能な限りデッキの前よりに、そうすることで揺れを減らすことが出来ます。大きなお子さんも一緒に載せる際はその子を前に載せて、チャイルドシートを後ろに設置して下さい。

同乗者の配置

一般的には、走行中最大限の操舵性を発揮するために、子供の座る場所は出来るだけ前にすることが快適性につながります。4歳以上の子供を2人前を向かせて座らせれば、通常は後輪の車軸よりも前に収まるはずですが、エッジランナーの長いホイールベース、並びに低重心性ゆえに、自転車の快適な操舵性を維持したいのであれば、お子さん（23kg未満）をデッキの後方に座らせることも出来ます。



子供の載せ方

フープタイへは親が手伝って上から載せます。子供を抱き上げて載せてやるか、子供がフープタイの中に入るまで支えてあげます。ヘルメットをかぶる前でフープタイが狭い幅だと、レールの下から潜り込むことが出来るし、その逆も可能です。

どっちを向けばいいの？

子供はフープタイに前向きでも後ろ向きでも乗れる訳ですが、その座る位置が操縦する人のハンドリング、並びに子供たちの走行状態に対する対処能力に影響を与えます。狭い幅にすると子供たちは乗りながらにして自由に向く方向を変えることが出来ます。

パニックブレーキは怪我のもと。

くぼみに気をつけて下さい。

舗装路のくぼみにはまるとたとえ低速であっても子供は衝撃と痛みを受けますし、自転車と後輪も潜在的なダメージを受けます。子供たちは後輪上に直に位置するので、くぼみによる振動を操縦者よりもより強く受けるわけです。

道路に注意を払い、同乗者を載せる際慣れていない道ではスピードを落として下さい。

曲がりながら飛び跳ねるのは BMX の特権

曲がっている最中にデッキ上で前後に動くのは止めてください。快適性、安全性の面でもお勧め出来ませんし、後輪の製品寿命にも影響を与えます。

低速で安定しない？

同乗者を載せた際、低速走行での安定性が保てなければ、購入店に相談してお子さんの重心を可能な限り低くするようエッジランナーのラックを調整してもらってください。この調整は当社のカーゴバッグの機能とフィット性に影響を与えますが、幾つかの状況下でそれを行う価値ある素晴らしい安定性、安全性を発揮します。

子供を載せての雨天走行

雨天は視界を奪い、周りのドライバーの視界も奪い、自転車の制動力にも影響を与えます。ライトを点灯させること、並びに親子共に濡れないよう準備することを徹底して、雨天走行を安全で楽しいものにしてください。この調整は当社のカーゴバッグの機能とフィット性に影響を与えますが、幾つかの状況下でそれを行う価値ある素晴らしい安定性、安全性を発揮します。



ありふれた錬金術

簡単なアプローチを取ることを楽しみに・

好き嫌いを別にして、私たちは皆 *get crap done* (さっさと片付けてしまおう=以下略して GCD) 漬けになっています。GCD を行うことで日々妥協を繰り返すだけでなく、GCD につきまとい大きくなって行くストレスと苛立ちが私たちを不幸にしているのです。ですから、あなたが GCD を楽しみにすることが出来れば、つまらない仕事を喜びに変えることが出来るのは道理でしょう。これはある種ありふれた錬金術です。

- **BikeSnobNYC** エクストラサイクルユーザー



貨物の牽引

1995年、ニカラグアでボランティアをしながら、エクストラサイクルの発明者であるロス・エヴァンスは日々自転車で荷物を運ぶ最も安価で、軽量で、簡単で、操作しやすく、適合性が高く、強度のある方法について模索していました。
今私たちはその答えを知っています。エクストラサイクルです！



貨物を牽引するためのクイックレシピ

以下はエッジランナーで身の回りのものを運ぶための簡潔なガイドです。ストラップとバッグの状態は良いか、ラックとデッキはしっかりと固定されているか、あなたの自転車は適切に使える状態にあるか、これら全てを確認して下さい。

牽引

他の自転車の牽引は遭遇する中で恐らく最も気まずいものです。単純に牽引する自転車の前輪とフォークをフリーローダーの後ろ半分に入れて、全てを固く縛れば良いのですが、この方法では最大限の固定はできません。おすすめする方法はさらに幾つかのパーツを一緒に固定することで、これにより快適な運転が出来るようになります。

必要なもの：

カムストラップ、トーストラップもしくは他の短いストラップ、若干のパッド（ポリエチレン系がおすすめです！）

方法：

自転車が左右に揺れないようカーゴバッグに入れた車輪にカムストラップを巻き付けて、牽引される自転車のクランクをトーストラップを使って固定して下さい。そうしないとペダルがエッジランナーの後

部に当たる事態が起こります。フォークとエクストラサイクルのラックの間に少しパッドを挟むと、フォークが傷つくのを防ぐことができます。この方法で全ての大人用自転車は牽引することが可能です。小さな自転車に関しては単純にフリーローダーの上に載せて下さい。

ピザラン

余計な道具は必要ありません。ただパイを積み上げて行って下さい。これはその他の大きなものでも同様です。バックルを外して中央のストラップを緩め、それらを中央丈夫でつないで下さい。ストラップは左右で正反対の構成なので、幅広い荷物を固定するのに余分なストラップを携帯する必要はありません。固定したら、パイが中央に設置されていることを確かめしっかり固定して出かけて下さい。保険の意味合いで、前方と後方のストラップをたすきがけ（左前と右後ろ、右前と左後ろ）で留めることができます。

サーフズアップ

サーフボード、カヤック、SUP（スタンドアップパドル）はエクストラサイクルを使って運ぶことができます。自作のサーフラック制作に着手して下さい。

必要なもの：

ワイドローダー、ロングローダー、カムストラップ、1インチパイプ用の断熱材、太めのタイラップ

取り付け方法：

ワイドローダーからナイロンスリングを取り外して下さい。ロングローダーとワイドローダーを左右どちら側でもいいのでボードを載せたい側に設置、そして断熱材をそれぞれのパイプに巻いて下さい。ボードを優しくローダーに載せ、ボードが当たる断熱材が巻かれていない箇所をチェックして行きます。それらの部分に断熱材を巻いていき、必要であればタイラップを使って固定し、再度ボードの当たり具合を確認します。直に当たる場所が無くなったら、付属のカムストラップでボードを固定し、波乗りに出かけて下さい！（注意：波に乗る前にボードを取り外して下さい。エッジランナーを救助用具に使ってはけません。）

世界で最も楽しい食材運び

お店に乗って行くことはエッジランナーの最も価値がある用途のひとつ～駐車場でのあなたはいつでもロックスターです！繰り返しますが、余計な道具は一切ありません。ただエッジランナーに乗って下さい。

食料雑貨を購入：ここでは4つの買い物袋を想定した説明ですが、これは多くても少なくとも構いません。両側のバッグの前方、中央、後方のストラップを緩めます。買い物袋を左側から入れて行きます。最初は前方と中央ストラップの間、次はその後ろ、入れ終わったらストラップを締めて右側も同様に行ってください。これだけです！

(ほぼ)何でも運ぶには

正しいパーツ選びと取り付け技術があれば、極めて大きなものから異形のモノまで運ぶことができます。長年にわたりエクストラサイクルは2x4の製材からベッドのボックススプリング、そして何台かのチェロまで何でも運んできました。

本当に大きなものを運ぶには、おしなべた乗車技術よりも運転計画の方が必要とされます。まず走行経路計画が非常に重要です。路上の車止めの間で滑ることが出来ないかもしれないし、一車線や混んだ通りは危険をもたらします。丘は登り、下り共に大きな障害となり、150kgを超える荷物を牽引しての上りはかなりの妙技となりますし、安全に下って反対側にたどり着くには正しいブレーキングの練習が必要です。アップダウンでの安全なディスクブレーキの使い方については購入店で説明してもらうようお願いしてみてください。大きな貨物は自転車の挙動を劇的に変えます。ボックススプリングは大きな帆になってしまいますし、長いしごは自転車を小刻みに揺らし、不均衡な荷物は自転車を片方に引っ張ります。それ故通りへ飛び出す前に往来の少ない場所で自転車と貨物の挙動をつかむことが大事です。また貨物がしっかりと固定されているのを確認すること、最初に数分走ったあと再度確認することも重要です。この際ラッチェット機能の付いたストラップはロープや簡素な帯ひもよりもしっかりと締めることができ、結び目をうまく作る必要もありません。

エッジランナーには大きな荷物を運ぶために幾つかのアクセサリーがあります。前述の通りラッチ機構付きのストラップはととても貴重ですしキックバックとUチューブは積載を劇的に楽にしてくれます。次は何を話しましょう・・



エッジランナー(エクストラサイクル)の積載で心がけるべき 3つの種な要素

1. クリアランス
2. 重心
3. 良い振動性

クリアランス

クリアランスは 3 つの点検の中で一番簡単ですが、度々見返す項目でもあります。自転車に載せた状態でご自身やペダルの空間が十分確保されているか、そして安全に操縦出来るかを確認して下さい。これは長い貨物がペダルの動きを妨げない、高い貨物がサドルに腰を下ろす妨げにならない、そして如何なる貨物もリアブレーキやリアディレーラーの動きを邪魔してはならないということです。積載に際してこれらの必要条件が全て満たされないなら、運ぶべきではありません。

重心

重心は自転車のバランスが取れる箇所です。荷物を載せる際は重心を可能な限り自転車のセンターラインに近づけるべきです。

荷物を積む際、自転車は多少なりとも縦方向にバランスが取れていないといけません。例えば箱入りの自転車を運ぶ場合、可能であれば2台の運搬を試みるべきです。

両側に箱をそれぞれ置くと自転車のバランスが取れますが、一台だと自転車は片側へ強く引っ張られます。また荷重は自転車から遠ざかると振動を誘発しやすいので、ラックの出来るだけ前方に持つてくることを心がけるべきです。

良い振動性

いいヴァイブというカーゴバイクの牽引よりも音楽の聞くことを思い浮かべます。しかし長く、柔軟な荷物を載せると奏で始めるのです。ギターの弦のように、長い荷物は一定の頻度で共鳴によって揺れ始めます。そしてその揺れが自転車に伝わり揺れを起こすのです。良くするコツは大きなうねりを最初に押さえ、より小さな、運転に影響を与えない頻度のより高い振動に変えることです。荷物を短くするか強固にすることで、これは実現出来ます。選択肢的にはしごを短くするためにぶった切ることは出来ませんが、劇的に強固にすることは出来ます。はしごもしくは2x4の資材などの場合、立て掛けるよりもUチューブやワイドローダー上で寝かせることで、剛性が上がります。チューブ状のモノを沢山運ぶ際はきつくまとめて束にすることで、沢山のへなへなな個体から大きな径の物体としてしっかりとした1本の固まりになります。繰り返しになりますが旅行に乗り出す前にテスト走行をすることが鍵となります。そうすることで激しい振動に驚かされる必要もなくなります。

常に積載する荷物に見合う以上のストラップで固定されていることを確認して下さい。そして警告用の旗を積み荷の最後尾もしくは自転車の前の部分に取り付けて下さい。

蝶として

1963年に物理学者のエドワード・ローレンツは偶然にも世界を見渡す深淵で斬新な法則に出会いました。天気を予測するより良い方法を模索している時、研究の過ちが彼の言うところの”初期値の敏捷性”なる原理を導いたのです。本質的に、彼は離れた組織の一部による一分間の行動が組織全体に劇的な影響を与えるということ理解したのです。”理論が正しければ、蝶の羽による一度の羽ばたきは離れた天候の推移を変えるのに十分である”とローレンツは記しています。その影響は劇的なだけでなく、予測出来ない方法で滝になります。同じ考えで、エクストラサイクルではスタッフ一人一人が世界に影響を与えると信じています。この楽観主義によって私たちは信念のために戦い続けることが出来、計り知れない、予期しない好意が広がって行くと確信しているのです。蝶が竜巻を起こせるならあなたにだってきっと出来ます。素敵なことに取り組んでみて下さい。



エクストラサイクル 制限保証



エクストラサイクル制限保証

エクストラサイクルの自転車は製品に必要とされる専門的な組付けと保守点検を理解する正規代理店で販売されています。エクストラサイクルはエッジランナーを小売店から購入した最初の人（所有者）に対して、購入された日から以下のような素材上並びに製造上の欠陥に対する保証を行います。

3年：フレームとフォーク

1年：他の全てのパーツ～ただし以下に挙げる部品を除きます。チェーン、カセット、チェーンリング、リム、スポーク、ニップル、タイヤ、チューブ、バルブ、グリップ、バーエンドプラグ、ブレーキパッド、LED、キックスタンド先端部

追加保証：自転車に装備されるその他のパーツ、コンポーネントは製造するメーカーの定める保証に準拠します。

制限保証

保証は欠陥のある製品に対して、製造者の判断により修理、もしくは交換に限定して行われるもので、それ以外の選択肢はありません。保証は小売りで購入した最初の人にのみ適用され、譲渡は出来ません。保証はエクストラサイクルの正規代理店で購入された自転車並びにコンポーネントに適用され、購入された国内でのみ有効です。全てのモデル、パーツが全ての国で販売されているというわけではなく、最初に購入された国以外では保守点検も保証されません。

購入された国以外、正規代理店ネットワーク以外からの保証申請は追加料金や保守パーツや情報手に入れる際も遅れる可能性があります。

エクストラサイクル保証サポート

エクストラサイクルは保証期間中の素材もしくは製造上の欠陥が明らかなどな部品に対しても修理もしくは交換を行います。保証に適合して交換される部品は同一のものか相似な設計のもので、エクストラサイクルは欠陥のある製品をエクストラサイクル製もしくはそれに代わるメーカーの違う設計の部品と交換する権利を持ちますが、その交換によって部品の機能面が損なわれることはありません。

所有者の負担

エクストラサイクルのオーナーは道理をわきまえたお手入れ、使い方を実行し、保管や使用頻度、天候、その他の関係要因に準拠した習慣的注油といった予防的なお手入れを行って下さい。製品の欠陥が明らかになった時点で所有者は自転車に乗るのをやめ、自転車もしくは部品をエクストラサイクルの正規代理店へ（もしくは代理店から）保証修理のために（適用出来る保証期間内に）送らなければいけません。代理店への自転車、部品の送付は所有者の負担となります。

全ての保守申請はエクストラサイクルの正規代理店、もしくは総販売店を通して行われなければいけません。またどのような保証申請であっても購入を証明するものが提示されなければいけません。自転車は保証申請が処理される前に必ずエクストラサイクルへ登録をするようにして下さい。



保証の適用外項目

- 通常使用下での消耗
- 不正な取り付けもしくは事後点検
- 元々想定されていない、もしくは販売される自転車に互換性の無い部品、もしくはアクセサリの取り付け
- 事故による損害、もしくは故障
- ご使用、もしくは放置
- フレーム、フォーク、コンポーネントの改造

エクストラサイクルの自転車登録

特定のエクストラサイクルの自転車に関する情報更新、そして保証もしくは整備点検の通知を常に受け取れるようにするため、全てのエクストラサイクルの自転車はオンラインの <http://www.xtracycle.com/warranty-registration> で登録されるべきです。

除外項目

以下の状況下のもと起こった損害、もしくは欠陥に関しては保証は適用されません。

- 製品の仕様もしくは指示を守らない乗り方、取り扱い、維持、酷使
- エクストラサイクル認定外の人員によって自転車の再組み立て、修理、もしくは修正が為された場合
- 部品の不正使用、もしくは想定された仕様外で被った身体的損傷
- 製品が火事、洪水、偶発的な破損、第三者による不正行動を被る、エクストラサイクルの管理を離れたイベント
- 自転車の車体番号、もしくは管理タグのすり減らし、改造、操作、その他認識を難しくする行為

この保証はエクストラサイクルによる唯一無二のものであり、従業員、代理店、再販業者のいずれもエクストラサイクルに代わる他のどんな保証も許可されていません。



補償申請の行い方

1. 所有者は保証による部品の修理、もしくは交換にあたり、正規代理店に自転車もしくは部品の欠陥箇所の写真並びに欠陥の詳しい説明を提出する必要があります。保証申請はその国の総代理店を通して処理されます。申請はすべからくレシート、請求書の類い、そして保証範囲であることを証明するこの制限保証証明書が必要です。
2. 提供された保証申請の情報に基づいて、エクストラサイクルは必要とされる修理が保証の範囲内であるかを決定し、購入店と一緒に事後点検を行います。エクストラサイクル並びに代理店は保証のもと交換する部品を代理店に送る際に発生する費用のみ負担します。これには交換品の輸送費、並びに代理店の保証申請を補償することを含みます。
3. 所有者はかかる補償申請に関わる如何なる追加の費用も負担する必要があります。これには自転車の部品の手付金や回収、補償申請により部品を取り替える際の工賃、一般的な点検もしくはお手入れにかかる費用、そして補償申請に関係ない部品の交換にかかる費用なども含まれます。

暗黙の保証の否認

この制限補償は他の全ての明示、もしくは暗示される補償（この製品に含まれる特定目的のための適合性もしくは使用に関する補償を含む）の代わりとなります。エクストラサイクルは逸失利益を含むいかなる付随的、もしくは派生的損失に対する責任も負いません。ここに規定される補償が拡大されることはありません。そしてこの限定補償はエクストラサイクルによってのみ修正が行われます。

メモ

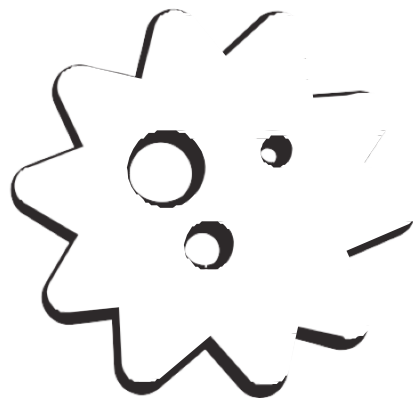
この補償のある一部分がお住まいの地域の条例にそぐわない場合、その部分は保証の残りの部分から分離出来ると判断され、かかる表記に最も近い、もしくはその条例によって最低限必要とされる英語の意味で解釈されます。この保証は消費者の法定権利に影響を及ぼすことはありません。



私たちについて

エクストラサイクルは製造メーカーであり、教育者であり、自身の製品が地球上において全く新しい意味での移動性を可能とする社会変革の伝達手段です。私たちはロングテイルバイクの草分けとして、自転車と志を推し進めることと自動車依存社会の代わりとして満足させるその境で、先進国で販売を促進する毎日を送っています。

利益は率先して発展途上国へ援助し、全ての人が貨物と自転車を技術利用出来るよう努めます。そして人類とこの地球の資源を増すような新しい形のビジネスを創造することを約束します。私たちはタイヤ跡に美しいものを残そうとしているのです。



エクストラサイクルは作用します



エッジランニングという進行形

真菌学者として有名なポール・スタメッツは”Edge Runner（エッジランナー）”という言葉で特定の菌糸体の成長習慣に言及して使いました。（真菌の）子実体は移動が早く、生命体の片端に潜伏し、枯死を迎え、死に至ります。エッジランナーの働きは無機物の複合体から栄養分を取り戻し、時として有毒な人類の産業廃棄物まで回収しながら、植物の新たな息吹の触媒になるというものです。エッジランナーは古いものを破壊して新しいものへと世代交代を即すわけです。エッジランナーという名前は、エクストラサイクルの発明者にして誇るべき父親であるロス・エヴァンスの息子のミドルネームであることは別にして、エクストラサイクルの独創的な連結器のないトレーラーの概念として、実用性からマウンテンバイクを再利用し、私たちの街を自動車依存から再生させるため何千という人々の想像力を鼓舞し、刺激する意味でこの上なく適しています。完成車のエッジランナーは旧型から変わる事無く、カーゴバイクがもはや主に犠牲、ずるさ、反感、しかしより多くの現実的な野心、改善、美しさ（良いところ）の象徴となっている家族に手を差し伸べながら、第一世代によって整備された幅広い道程を突き進んでいます。

言い換えれば、これは新たな文化なのです。

カリフォルニア州オークランド

WWWXTRACYCLE.COM

1998 年設立

自転車に乗ろう。モノを運ぼう。